

おくすり教室

おくすり教室委員会 渡邊 卓子

徳山薬剤師会では薬剤師の職能を活かして地域の方々へ貢献するボランティアをしています。日頃の職場は違いますが、薬剤師会内では薬剤師同士で委員会活動をしていて、そのなかに、【おくすり教室委員会】があります。この委員会では周南市にお住まいの方や団体より薬剤師の講演要請があれば、薬に関する講演をさせていただいています。これまで何度か講演してきましたが、2020年初頭からのコロナ感染症により、要請がキャンセルになること多々でした。直近では2021年7月に、1年半ぶりに鹿野で講演しました。その時は演題「薬の正しい飲み方」で要請をいただきました。演題に沿い、薬の基本的ななりたち、注射の様式、服用時間、からだのなかでの薬の代謝、先発品と後発品のちがい、最近の後発品の特徴などを50分間のスライドとともに話しました。その後10分間の質問時間と合計1時間でした。講演を重ねる中で、私達薬剤師の日常業務について初めて知りましたとおっしゃられることが多いです。この講演後にも「後発品へ変えてもらう相談を薬剤師とできることを初めて知りました」と驚かれていました。その方は後発品に変える戸惑いを誰にも相談できずに悩まれていたようです。このような活動が、地域の方々の身近な悩み解決に役立てていけたら嬉しいです。

今後も徳山薬剤師会の委員会活動【おくすり教室委員会】を通じて薬剤師の地域貢献や職能を知って頂けたらと願います。

